

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「遠山郷花街道」整備事業
事業主体 (連絡先)	遠山郷花街道推進プロジェクト連絡協議会 (南信濃自治振興センター TEL0206-34-5111)
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,679,516 円 (うち支援金: 3,126,000 円)

事業内容

三遠南信自動車道の現道活用区間である国道 152 号及び 418 号沿いを「花桃」や「桜」などの樹木を植栽することで、彩り豊かな新たな南信州の玄関口として全国から誘客し、遠山郷ファンの拡大と移住定住への促進へつなげる。

- 国道 152 号及び 418 号沿線の植栽 180 本
- 記念植樹
 - ・9 月 21 日 (土) チャレンジマラニック参加者等による植樹 20 名参加
 - ・3 月 15 日 (日) 遠山郷花街道連絡協議会会員による記念植樹 13 名参加



【記念植樹】

【目標・ねらい】

- ① 新たな南信州の玄関口として誘客を増やす
- ② 交流・関係人口の拡大
- ③ 住民による協働意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援金を活用して計画区域の植栽が完了し、併せて三遠南信自動車道青崩峠道路が本坑着工となったことから、地域振興への期待感が高まっている。
- ② 「遠山郷花街道」整備事業の採択により、地元住民による自発的な維持管理体制「遠山郷花街道連絡協議会」が発足した。
- ③ 記念植樹を 2 回実施したことから、花木の成長を楽しみに再度訪れ沿道を散策するなど県内外の人の流れが生まれており、交流人口の拡大に発展している。

※自己評価【B】

- 【理由】
- ・植樹参加者が花木の成長を楽しみにリピーターとなっている。
 - ・沿線の景観が良くなったことから、三遠南信自動車道の早期開通と地域振興への期待感が高まっている。

今後の取り組み

植栽区間を上村方面へ拡大することによって、来訪者に美しい遠山郷を印象付けることができ、これがリピーターとなって地域住民との交流が生まれ、移住定住につながることに期待したい。7 月にはゲストハウスもオープンしたことから経営者・宿泊者による花街道に関する情報拡散を図りたい。また、植栽した花木の維持管理に向けて「遠山郷花街道推進プロジェクト連絡協議会」が中心となって協力体制の拡大を図る。